

統計局統計調査部国勢統計課指導係長

渡邊 三根夫

WATANABE MINEO

平成 15年 4月 総務省採用
統計局統計調査部経済統計課個人企業調査係
平成 16年 10月 統計局統計調査部経済統計課
事業所・企業統計室調査区係
平成 19年 7月 統計局総務課企画調整係
平成 20年 5月 経済産業省政策局調査統計部参事官付
平成 21年 10月 統計局統計調査部経済基本構造統計課
事業所母集団データベース管理企画係
平成 22年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課統計専門職
平成 23年 9月 統計局統計調査部経済基本構造統計課
事業所母集団データベース管理調整係長
平成 23年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課
事業所母集団データベース管理調整係長
平成 25年 4月 大臣官房秘書課機構・定員第一係長
平成 27年 4月 統計局統計調査部経済統計課指導第二係長
平成 29年 4月 統計局統計調査部経済統計課企画第二係長
平成 30年 4月 現職



統計を一緒に作成・提供しませんか。

色々な人との出会いもある職場

これを読んでくれている皆さんは、「統計を作成・提供」すること、また、このようなところで働くということに対して、どのようなイメージを持っているでしょうか。

「統計の作成・提供」とは、必要なデータを集めるため、調査を実施して、その集めた内容を集計・公表することを言います。

現在、私は、国勢調査を実施する業務に携わっています。

国勢調査は、我が国の全世帯を対象とする最も基本的な統計調査であり、地方公共団体を通じて実施する調査で、その結果は、あらゆる施策の基盤となり、民間の活動にも幅広く活用されています。また、結果は、内閣の最重要課題である、地方創生や少子高齢化対策への取組に不可欠な最新の人口推計や将来人口推計の基準ともなるもので、重要な統計調査です。

国勢調査の実施の検討に当たっては、47都道府県、約1800市町村の地方公共団体を通じて調査を実施しますので、地方公共団体の皆さんと一緒に検討を進め、正確かつ円滑に調査を実施できるように、様々な人と意見交換をしています。

新しいことにもチャレンジできます

国勢調査の実施の業務についてお伝えしましたが、統計局では、政府統計の中核的機関として、「国家と社会の情報基盤」である統計の作成・提供もしていて、統計局の業務の範囲は、多方面にわたります。

一例として、統計情報の戦略的提供の推進を行っていて、時代の変化に対応して、広く国民に対して統計情報の積極的かつ効果的な発信・提供する取組を行っています。

このように、意欲があれば、自分の発想を形にして、新しいことにチャレンジしていける職場でもあると思います。

皆さんもぜひ、業務説明会や官庁訪問などを通じて、多くの統計局職員の生の声を聞いて、業務やその人柄に触れてみてください。きっと今以上に統計への興味関心がわくと思います。

Private
Time

休日は家族とよく食べ、よく話し、ゆったりと過ごしています。
晴れた休日は、子供が2人いますので、専ら一緒に公園に行って、体を動かして、平日の運動不足も解消しつつ、リフレッシュしています。
こうした休日のリフレッシュが、「また、仕事を頑張ろう!!」という想いにさせてくれます。



Q 今までで一番印象に残った仕事は？

A 平成28年4月に発生した熊本地震の時です。この時、経済センサス-活動調査という調査を担当していました。地震の被害があった中で、2か月後に実施する予定であった調査について、「調査を一時中止すること」や「調査をいつから再開するか」、「地震の被害があった地域をどのように調査するか」などを熊本県や市町村の皆さんと膝を交えて何度も意見交換をしました。そうした膝を交えた末に、熊本県や市町村のご理解があって、調査を実施し、当初の予定通りに公表することができたというのが、地方の皆さんと一緒に統計を作っているんだなと強く感じ、一番印象に残った仕事です。

Q 一緒に働くならどんな部下？

A 自分自身もまだまだできていないのですが、アイデア・発想は、色々な人とのコミュニケーションを通じて、生まれてくるのではないかと私は感じています。自分で行動して、積極的にコミュニケーションをとれる人と一緒に仕事がしたいですね。

